

大平直昭 後援会だより

新型コロナウイルス感染症は、いまだ収束が見えない状況が続いています。引き続き力を合わせて感染症対策を徹底しましょう。

昨年11月に、市議会議員として5期目をスタートさせていただいております。全力でその職責を全うする所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

今年度の市政報告と活動報告をいたします。

【令和4年度予算】

合併後、3番目の規模の予算編成となりました。

一般会計 291億5千万円 (前年度 286億2千万円) 1.9%増

特別会計 145億510万4千円 (前年度 157億695万3千円) 7.7%減

予算総額 436億 5,510万4千円 (前年度 443億2,695万3千円) 1.5%減

【主な事業】 3月定例会で決まった、新規・拡充する事業を中心にご紹介します。

令和4年度当初予算については、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立を図りながら、将来にわたって健全な財政を堅持していくため、全職員が強い危機感を持ち、「ゼロベース」の視点で各事務事業を見直し、予算編成を行っております。事業の優先順位による選別と選択、大型事業の実施の平準化など、中長期的な視点に立って事業を推進し限られた財源を最大限に活用することで、将来にわたり持続可能な財政運営を図りつつ、第2次観音寺市総合振興計画に掲げる「みんなで奏でる“にぎわい やすらぎ ときめき”の都市 ～元気印のかんおんじ～」の実現に向け、各種施策を推進していきます。

重点施策▶ 市内産業が活躍でき、世界に開かれた“にぎわい”のまちづくり

プロジェクト推進【新規】 265万円

- 1) 看護系大学開設(旧三豊工業高校跡地)に伴うJR豊浜駅周辺の整備、2) 中四国最大級の道の駅整備
- 3) JR観音寺駅の橋上化(駅舎のみ) 令和4年度「プロジェクト推進室」、「政策アドバイザー」設置

佐伯市長が公約に上げていた3大プロジェクト。今年度は準備室を立ち上げます。

スマートインターチェンジ 整備 7億2,506万円(令和3年度繰越分含む)

市へのアクセス向上を図るため高松自動車道と幹線道路を接続するスマートICを整備
令和4年度 用地買収、ストックヤード整備、周辺対策工事費 等



地域産品 振興 350万円

地域の事業者と連携し、「食」を核とした地域産品に対するプロモーション活動など、地域資源を活用した積極的な情報発信を行う 地方産品プロモーション活動(どっかんおんじ)を支援

移住定住 促進 1,434万円

移住希望者への情報発信や移住相談、移住者の定住・定着を図るため、移住体験や家賃補助等の支援
県外の事業者等が空き家を購入し、テレワークのために改修する費用を助成

地域おこし協力隊【拡充】 1,440万円

地域づくりに意欲のある都市部の人材を誘致して、地域の活性化を図るとともに地域への定住・定着を図る
今年度は隊員1名(豊浜町須賀自治会)増加し3人体制に

瀬戸内国際芸術祭開催 3,764万円

文化芸術の振興や交流人口の増加、島及び市内の活性化を図る
秋会期 2022年9月29日(木)～ 11月6日(日) 39日間



大平直昭プロフィール

昭和36年(1961年)生まれ。観音寺第一高校、関東学院大学経済学部卒業。
平成15年(2003年)豊浜町議会議員初当選。平成17年(2005年)観音寺市議会議員初当選、当選5回。三豊総合病院組合議会議長、観音寺市議会副議長歴任。趣味:音楽

重点施策 ▶ 人にやさしく、誰もが“やすらぎ”を享受できるまちづくり

豊浜認定こども園 建設 2億7,546万円

老朽化した保育所・幼稚園を統合し、現在の幼稚園の場所に認定こども園を建設
令和4年度 建設工事、工事管理・設計意図伝達業務委託 令和6年4月 開園予定

乳児紙おむつ等 支給【新規】 1,113万円

安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを目的に、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、おむつや衛生用品に使用できる助成券を配布予定

対象者：令和4年 4/1以降に生まれた乳児（1歳の誕生月の前月分まで支給）

1ヶ月2,000円（1,000券×2枚）×12ヶ月



公立保育施設運営 1億4,567万円

令和4年4月 幼保連携型認定こども園「大野原こども園」（大野原保育所と大野原幼稚園を移行）開園

耐風改修対策支援 補助【新規】 126万円

民間住宅の瓦屋根の耐風診断、及び危険性があると診断された場合には改修費用の一部を補助

診断：上限31,500円 改修：補助率23%、上限552,000円

デジタル行政 推進【新規】 2,133万円

「自治体DX推進計画」に明記している重点取組みを推進する

情報システムの標準化・共通化、高齢者向け「スマートフォン教室」開催



ため池ハザードマップ作成 1,320万円

平成30年7月の豪雨被害を踏まえた新たな基準で選定された防災重点ため池について氾濫解析を行い、ため池ハザードマップを作成（令和4年度 丸山池、鶴亀池、高尾上池、鎮守池、荒田池）

重点施策 ▶ 生き生き元気に活躍できる“ときめき”のまちづくり

豊浜小学校 改築 3億1,902万円

令和4年度 旧校舍解体工事、給食棟他 改修工事

豊浜小学校 新校舎



豊浜小学校屋内運動場 改修 2億5,300万円（前年度繰越事業）

豊浜小学校の屋内運動場（体育館）を骨組みだけ残して大規模改修

新学校給食センター 建設 28万円

市内4施設（観音寺、大野原、豊浜小、豊浜中）を統合し、新たに学校給食センターを整備、民間の技術力、経営力を活用したPFI方式を採用（令和4年度 PFI運営事業者選考委員会 経費）

情報教育 推進 小学校 4,007万円／中学校 1,888万円

学校のICT環境整備を進め、学校業務の効率化及び児童の情報教育の推進を図る

7つの基本目標に基づき施策を推進します。

第2次観音寺市総合振興計画 前期基本計画に基づく施策

基本目標 ▶ 活力と魅力ある産業のまち

観音寺市元気アップ商品券等発行 補助 4,600万円（前年度繰越事業）

プレミアム分、事務経費20%のプレミアムがついた商品券を発行し、市内消費喚起を図る事業に対し補助する

発行総額：2億円+プレミアム分4,000万円（秋頃予定）発行に関する事務経費600万円

デジタル商品券発行 4,000万円（前年度繰越事業）

プレミアム分、事務経費20%のプレミアムがついたデジタル商品券を発行し、市内消費喚起とキャッシュレス決済促進を図る

発行総額：1億円+プレミアム分2,000万円（秋頃予定）発行に関する事務経費（システム構築 他）2,000万円

有害鳥獣駆除対策【拡充】 1,210万円

鳥獣被害防除器具導入・駆除用罟具等購入への補助、有害鳥獣の捕獲に奨励金を交付
令和4年度より、「イノシシ、シカ、サル」補助単価を引上げ（10,000円→12,000円）

強い農業づくり総合支援 交付金【新規】 1億8,500万円

地域において、中心的な役割を果たしている農業法人や農業者団体等に産地基幹施設の整備等を支援

新規就農者育成総合対策【新規】 1,464万円

農業への人材の一層の呼び込みと定着を図るため、経営発展のための機械・施設等の導入を地方と連携して親元就農も含めて支援するとともに、就農に向けた経営開始資金を支援

基本目標 ▶ 新たな交流を生むまち

交流定住 促進【増額】 103万円

交流人口、定住人口の増加を促進するため、かがわ縁結び支援センター登録料の減額、香川大学との域学連携事業を実施する 令和4年度 婚活事業補助再開予定

シティプロモーション【増額】 367万円

市の知名度向上を図るとともに、市の魅力を積極的に情報発信する（がんばれ観音寺応援隊、ふるさと応援大使、SNSを活用した情報発信、インスタグラムフォトキャンペーン、首都圏での観音寺フェア 等）

基本目標 ▶ 豊かな学びと文化を育むまち

小学校施設設備 整備 2,000万円

令和4年度 柞田小学校プールろ過機改修工事、観音寺小学校特別支援教室整備工事、既存空調機器の小学校への移設工事

中学校施設設備 整備 2,150万円

令和4年度 観音寺中学校プール棟改修工事、中部中学校運動場排水路整備工事、既存空調機器の中学校への移設工事

すばっシュ豊浜施設設備 改修 3,721万円

中央監視システムの更新に伴う実施設計及び改修工事



すばっシュTOYOHAMA

基本目標 ▶ 自然と共生した美しく快適なまち

エコオフィス実行計画 推進 152万円

市の事務事業における地球温暖化対策として、第4次観音寺市エコオフィス実行計画を策定

基本目標 ▶ 持続可能なまちづくりのための体制づくり

ふるさと納税 推進 6億3,782万円（返礼品、送料、サイト委託料 他）

ふるさと納税サイト等を活用し、「がんばれ観音寺応援寄附金」を募集 令和4年度寄附見込額：12億円
《寄附状況》平成30年度：1億8,719万円、令和元年度：6億3,134万円、令和2年度：8億3,973万円、令和3年度：約12億8,000万円

【活動報告】

◆一般質問（主な質問）

令和3年6月定例会（個人質問）

●高齢者の移動支援事業の取り組み

質問 本市で進めている高齢者の移動支援事業の概要と取り組みの状況は

答弁 移動手段に困る高齢者が、買い物や通院等のために、自宅から目的地まで、自動車等により、地域の実情に合った方法で移動できる仕組みづくりを構築するため、第2層協議体、地域住民等と連携し、移動・外出支援の枠組みを構築しようとする団体の中から、モデルとなる1団体に対し、仕組みの構築や運営に必要な費用の補助を行う。財源は、県の補助金を充てる。今後のスケジュールは、公募後、市内の希望団体の中から補助対象団体を決定し、令和3年度内に移動・外出支援の試行が開始できるよう支援していく。

令和3年9月定例会(個人質問)

●まちづくり基本条例の取り組み状況

質問 まちづくり基本条例は、まちづくりの基本理念や、市民、議会、行政の役割分担と責務、市民参画の仕組みなどを定めた、自治体の憲法とも言われるものであり、以前は、制定に向けて、市広報紙に条例に関する記事を掲載したり、講演会を開催するなど、取り組みを進めていたが、現在の取り組み状況は？

答弁 令和2年3月14日にまちづくり講演会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。令和2年度以降については、新型コロナウイルスの感染状況から、市民の皆さんが多数参加する制定までの作業工程を考慮すると非常に難しいと判断し、条例制定に向けた取り組みを取りやめている。

令和3年12月定例会(個人質問)

●買物弱者支援の取り組みをもっと積極的に

質問 遠くの店まで出かけることが困難で、食料品や日用品の購入に不便や苦勞を感じる方々、いわゆる買い物弱者が年々増加している。移動販売車の補助制度の創設をはじめ、買い物弱者の支援をもっと積極的に取り組むべきではないか？

答弁 本市においても買い物に不自由を感じる高齢者が増えてきていると認識している。買い物弱者に対する支援については、大変重要な課題であるので、他の自治体のタクシー利用券や民間のジャンボタクシーを活用した乗り合いタクシー事業も参考にするとともに、移動販売車事業への補助制度については、先進地をさらに調査し、(実現できるよう)鋭意努力していく。

令和4年3月定例会(代表質問)

●スマホのアプリを活用した放課後児童クラブの弁当提供を提案する

質問 スマートフォンのアプリ等で弁当を発注、支払いはクレジットカード決済、注文を受けた業者が配達するという、先進地の事例を参考にして、放課後児童クラブの弁当の提供を提案するが、如何か？

答弁 お弁当の提供が保護者の皆様の負担軽減につながることは承知しているが、さまざまな課題も考えられるため、本市での導入については、先行自治体の状況を今後も調査、研究しながら、検討していきたい。

●LINEの活用を提案する

質問 多くの自治体がLINEを様々な用途で活用している。本市も同様に活用してはどうか？

答弁 本市では、「観音寺ホッとメール」で、市政情報などを発信しているが、令和4年度中にスマートフォンなどで利用が可能なコミュニケーションツールを活用した情報発信に切り替える予定で、LINEを含めた複数のツールの中から、情報発信の機能や汎用性、市民の皆さまの利便性や操作性にも考慮し選定する。

◆所属委員会等(令和4年)

文教民生委員会(委員長)、広聴広報委員会(副委員長)、三豊総合病院企業団議会

◆議会人事・会派

議長 詫間 茂 副議長 五味 伸亮

会派 自民新政会6名、立志会3名、真風会3名、公明党2名、無会派3名

令和の風 3名 会長:立石 隆男、幹事長:伊丹 準二、大平 直昭

昨年11月の市議会議員選挙の結果、3人が入れ替わり、議会の雰囲気が変わったように感じています。私自身も議員を目指した頃の気持ちを再確認し、熱意を持って5期目を務めさせていただいております。また市議選と同時にあった市長選挙において、新市長が誕生し、舵取り役として意欲的に市政運営にあたられております。議会の一員として、市長に提言や提案をしながら、市政の諸課題に真摯に取り組んでいく所存でございます。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします

ご意見・ご質問、ご要望がありましたら、いつでもご連絡ください。

大平直昭後援会

観音寺市豊浜町和田丙23-3 TEL090-3181-6721

<http://naoaki.net>